12月1日は世界エイズデー

～あなたの話を聞かせてください～

世界エイズデーは、エイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図ることを目的として、12月1日を中心に実施しています。
今年度は人権の尊重という考え方を広く社会に伝えたいという思いから「**あなたの話を聞かせてください**」というテーマが選ばれました。ＨＩＶとエイズをめぐる状況は、治療や予防の進歩により大きく変化しています。一方で、ＨＩＶに関する不安や悩み、検査や治療へのためらい、感染した人々への差別や偏見は、今なお社会の中に存在しています。こうした課題に向き合うためには、最新の正しい知識の普及に加えて、一人ひとりの思いや経験に耳を傾け、互いを尊重し合う姿勢が重要です。

エイズの今

890人

新規HIV感染者・エイズ患者報告者数（2025）

自分の感染を知らない人が3割
2025年の新規報告数890件のうち266件、およそ3割の人がエイズを発症して初めて自分がHIVに感染していることを知ります。HIVに感染したかどか確認するには、HIV検査を受けるしかありません。

79%

性的接触によってHIVに感染した人の割合(2025)

日本における、新規HIV感染者の感染経路は、性的接触によるものが79%（うち82%が男性同性間）、新規エイズ患者では72%（うち73%が同性間）となっています。また、新規HIV感染者・新規エイズ患者ともに、男性が全体の9割を超えています。

感染・発症したら治せるの？

今のところ、体の中にあるHIVを完全に取り除くことはできません。ただし、医療の進歩によって様々な治療薬が開発されたおかげで、体内にいるHIVの増殖をおさえ、免疫力を維持することが可能になっています。万一、HIVに感染、又はエイズを発症しても、薬を飲み続けるなど適切な治療を継続することによって、今までの生活を送ることができますし、安全に赤ちゃんを妊娠、出産することも可能です。
なお、HIV治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6か月以上継続的に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によってHIVが感染することはありません。 この状態を「U=U」といいます。エイズ発症後での治療は、発症前と比べて難しくなるため、より高い治療効果を得るためには、HIV感染を早期に診断し、早期治療につなげることが大変重要です。

Undetectable：検出限界値未満 = Untransmittable：HIV感染しない

こんなことではうつりません

HIVは感染力が弱く、日常生活においては性行為以外で感染することはありません

電車のつり革



洋式トイレの便座



美容院



お風呂やプール



蚊やノミに刺される



握手や軽いキス



飲み物の回し飲み
同じ皿の料理を食べる



病院も安心です
日本では、献血、採血など医療行為に使用する注射針は全て使い捨て、または消毒済みなので感染の心配はありません。

出典：公益財団法人 エイズ予防財団API-Net より/政府広報オンラインより
U=U Japan Projectより